

週 報

こひつじ

第41巻 33号
 大津キリスト教会
 菊池郡大津町室 119
 TEL 096-293-4470
 FAX 096-293-4961
 牧師 米村 英二

試みてはならない

その二 今を生きる

大阪の道本純行牧師（八尾福音教会）から、最近、『ぼくを忘れていくきみと』という本が送られてきた。

彼の友人である吉田晋悟牧師によつて書かれたものだが、六三歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された妻多美子さんとともに、その後の一八年をどのように生きたかの物語だ。

彼の友人である吉田晋悟牧師によつて書かれたものだが、六三歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された妻多美子さんとともに、その後の一八年をどのように生きたかの物語だ。

記憶が失われてゆく病気である

ことを知ったとき、多美子さんが、

「私の人としての尊厳はどうなり

ますか」

であったという。

彼女はそのとき、同じ病気と闘

のことを「高価で尊い」と思っ

ていく。彼女の「今を生きる生き方」は、

そう確信した彼女は、超自然的

そのまま私たちの生き方でもある

生きる道を選び、こう決意する。

「やがて私は過去のすべてを忘れ

また神は起こってくるすべてを働

お私に与えられているものがある。

それなら、どうして神を疑い、

それは今だ。過去は失われても、

試みる必要があるだろう。

今だけはある。その今を私は大切

私たちもまたイエスがなさった

にして生きたいと思う」

いのである。

それから彼女は、過去の複雑

第二に、イエスは、ご自分の使

な思いから解放され、ただ今日を

生きる人生へと向かい始めるので

ある。

そんな母親の姿を見た娘さんは、

こう言ったという。

牧師夫人としての、以前の生き

方「仕える喜びを持ちながらも、

多くのことに縛られて余裕のない

姿に思えた」が、「認知症になつて

からの母が、ありのままの自分を

神にゆだねて大きな愛のうちに安

とをもつて公義をもたらす。彼は 一〇時半から。

衰えず、くじけない。ついには、地に公義を打ち立てる。島々も、そのおしえを待ち望む。(イザヤ書四二の二―四)

以上がイエスの伝道方法だった。ひとつは「叫ばず、声をあげず」であり、今ひとつは「いたんだ葦を折ることもなく、くすぶる燈心を消すこともなく」である。

イエスは、静かに、やさしく、いつも弱い人に目を注ぎながら、こつこつと目の前の義務に励まれた。そこにセンセーショナルなものは何もなかった。

それがイエスの選ばれた道だったのではないだろうか。(続)

イエスは、静かに、やさしく、いつも弱い人に目を注ぎながら、こつこつと目の前の義務に励まれた。そこにセンセーショナルなものは何もなかった。

それがイエスの選ばれた道だったのではないだろうか。(続)

イエスは、静かに、やさしく、いつも弱い人に目を注ぎながら、こつこつと目の前の義務に励まれた。そこにセンセーショナルなものは何もなかった。

今日の礼拝

○礼拝は午前一〇時半から。

○教会学校は午前一〇時半から。

○説教は米村牧師。

○礼拝後、昼食交わり会。

次週(八月三二日)の礼拝

○礼拝、教会学校はともに午前

塗装と外壁の塗装。

二、教会堂内部の天井及び壁の塗り替え。

三、教会堂及び二階の事務室のカーペット張り替え。台所、トイレの床張り替え。

四、台所の戸棚のドアの取り付け。

五、牧師館の床の張り替え(フローリング)。

以上の大幅な工事から、二八年がたちます。そこで今回、教会堂の内装を中心に改装及びバリアフリーのトイレなどの新装工事を行なえたらと考えています。

工事内容は左記の通りです。

一、玄関工事。ドアとひさしの取り替え、車椅子用の玄関スロープをつくる。

二、トイレ工事。バリアフリーのトイレと男性用トイレをつくる。

三、内装工事。教会堂、台所などの壁、天井塗装。カーペットの張り替え。天井の修理。

四、台所に新しい食器棚を設置。

以上の工事で、セキスイの見積